

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターすまいるきっず		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者ニーズ、訪問先ニーズに保育や授業の中で一緒に考えて対応している。	丁寧にアセスメントを行いご利用児の発達状況に合わせて、また訪問先の方針を尊重した手立てを考えるようにしている。	関係機関と連携、情報共有し、チームで支援に当たっていく。
2	専門知識のある職員が支援を行っている。	専門性を高めるように外部研修などの機会を作っている。	多職種や職員間で検討を行い、支援に活かしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の弱さがある。	連絡手段が少なく、それぞれへの連絡が必要。回数が少ないため、電話連絡などが増える。	SNSなどの活用を検討していく。
2	訪問先の都合に合わせた支援日の設定の難しさあり。	利用児の体調不良での休みや行事によって調整が必要だが、他訪問が入っているため、調整が困難になることがある。	1日で複数の支援などの検討が必要。